

## 丹沢の山は涼しいのか？ 秦野ビジターセンター

暑い夏がやってきました。丹沢ではこの季節に登山をされる方も多くいます。山の上は涼しいといったイメージを持っている方もいると思いますが、丹沢の山はどのくらい涼しいのでしょうか？

山が涼しい理由として、標高が100m上がるごとに気温が約0.6℃下がる、気温遞減率と呼ばれる現象があります。また、風速1m/秒ごとに体感温度は1℃下がるといわれています。

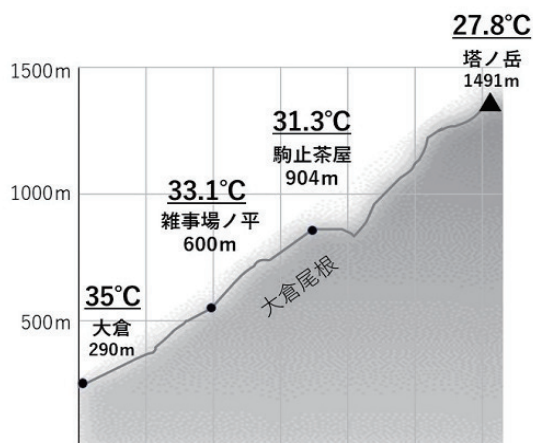
大倉から塔ノ岳に登山するとして見てみましょう。大倉の標高は290mで、塔ノ岳の標高は1491mです。その標高差は1201mなので、気温は約7.2℃低いことになります。最近では猛暑日といわれる気温が35℃を超える日が多く、仮に大倉の気温が35℃だったとすると、塔ノ岳の山頂では気温は27.8℃となります(図)。さらに、一般的にそよ風程度といわれる風速3m/秒の風が吹いていたとすると、体感温度は24.8℃になります。この温度では休憩していれば涼しいかもしれませんが、運動をすると暑さを感じる温度でしょう。このように山の上の気温は低いとはいえ、夏の登山は常に熱中症のリスクが伴います。十分な水分を携行し、こまめな水分補給をしましょう。また、山で感じられる温度はその時々です。天気と気温、風速などを見ながら必要な装備を整えて登山に出かけましょう。

山で涼を感じられる場所は、沢沿いや、森の中の木陰など様々です。熱中症対策をしっかりとって、夏の丹沢に出かけてみてはいかがでしょうか。

(執筆:遠藤)

図:大倉が35℃の時の各場所の気温

塔ノ岳山頂



### 自然公園へでかけよう



**環境省箱根ビジターセンター**  
Hakone Visitor Center  
〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根 164  
Tel 0460-84-9981  
<http://hakoneve.sunnyday.jp/>

**県立秦野ビジターセンター**  
Hadano Visitor Center  
〒259-1304 秦野市堀山下 1513  
Tel 0463-87-9300  
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

**県立西丹沢ビジターセンター**  
(旧西丹沢自然教室)  
Nishi-Tanzawa Visitor Center  
〒258-0201 足柄上郡山北町中川 867  
Tel 0465-78-3940  
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

開館日、開館時間、イベント予定等は各ビジターセンターまでお問合せください。

#### 【新型コロナウイルス感染症対策に関するご注意とお願い】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各施設をご利用いただく際は、手指の消毒の徹底・マスクの着用をお願いするとともに、展示室の人数制限をさせていただく場合があります。



箱根ビジターセンター、秦野ビジターセンター、西丹沢ビジターセンターの Facebook ページ公開中！ 最新の情報をご覧ください。

## 手作業でのヨシ刈り 箱根ビジターセンター

箱根の仙石原には神奈川県で唯一の湿原があり、そこでしか生きることができない動植物も生息しています。この湿原の保全のため、毎年早春に野焼き、そして6月には青草刈りを行います。背丈が高くなるヨシやススキを刈り取ることで、湿原の植物たちは十分な日光とスペースを確保できます。

今年の活動は6月3日に行われ、30名近くの関係者とボランティアが集まりました。梅雨入り前の暑い日でしたが、参加者は鎌を持ち、ほかの植物を傷つけないよう1本1本手作業で草を刈り取ります。ヨシやススキの合間から顔を出しているモウセンゴケやノハナショウブの葉を見て、開花が待ち遠しい気持ちになります。

湿原のすぐ傍にはバスや車が走っていて、外から見るとこんなところに貴重な生き物の住みかがあるとは思えないような場所です。箱根は湿原・草原・森・湖・溪谷と多彩な環境があり、面積の割には様々な楽しみ方ができます。

(執筆:下園)



これから花盛りを迎えるノハナショウブ



刈り取りとヨシを束ねる作業

## 無理のない登山計画を！ 西丹沢ビジターセンター

2022年春の檜洞丸・ツツジ新道、石棚山稜線のシロヤシオは、例年に比べても花付きがとてもよい状態でした。GW頃から徐々に咲き始め、山開きが行われた5月22日に見頃を迎え、5月末まで楽しめました。また、5月中はコロナ禍以前に戻ったように、大変多くの登山客が西丹沢を訪れ、賑わいました。

明るい話題の一方でGWから遭難が多発しました。特に5月は滑落による死亡事故2件、行方不明1件、道迷い1件、衰弱により動けなくなる事故が1件ありました。

この2年間はコロナ禍での自粛生活により、体力が低下した方も多いためと思います。今年のGWからはさまざまな制限が解除されましたが、体力の回復にはしばらく時間がかかると思われます。

夏山登山では、熱中症・脱水症のリスクが高まるだけでなく、暑さにより激しく体力を消耗するため注意力が落ち、道迷いや、転倒リスクも高まります。

そこで、この夏登山を計画される皆様にお願ひがあります。『コロナ禍以前に立てていた計画よりも少し楽なものにして下さい!!』無理せず、事故のない楽しい登山をしていただければと思います。

(執筆:澤田)



登山客で賑わうビジターセンター前



山岳救助隊安全登山呼びかけ